

学校施設太陽光屋根貸し事業がスタート！

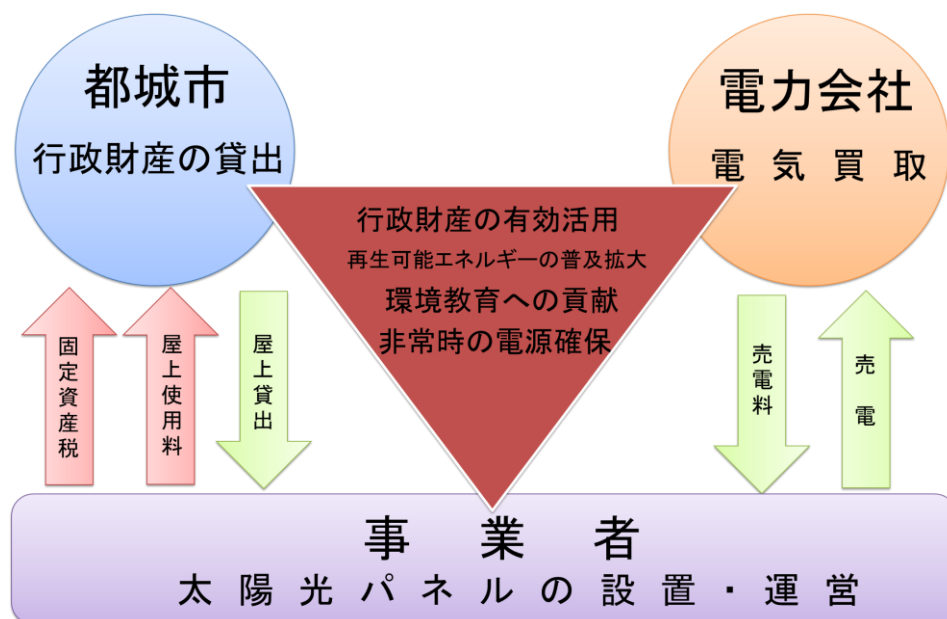


太陽光発電事業を手がける民間事業者（株式会社NTTスマイルエナジー）に、当市の学校施設の屋上および屋根を貸し出します。

太陽光パネルを設置することで再生可能エネルギーに対する理解を深めるとともに、学校教育への貢献や行政財産の有効活用が実現します。

●事業概要

- ・今年度から3年間で小学校27校、中学校14校、計41校の校舎と体育館の屋上や屋根に「太陽光パネル」を設置。費用は事業者負担のため、当市の財政負担なし。
※今年度は小学校12校、中学校7校、計19校に設置
- ※3年間で校舎24棟、体育館28棟、計52棟に設置。発電見込2,650Kw
- ・災害時に非常用電源として使用できる「防災コンセント」も設置
- ・事業者から支払われる屋上使用料（年間約180万円）は、空調機設置に伴い増加する電気料金へ充当。※屋上・屋根使用料は、20年間支払われます



●セミナー ※9月期定例会見終了後に開催します！

日時：8月29日（木）12：00～12：30 ※30分程度

場所：明道小学校

出席者：市長・教育長・設置事業者

内容：パネルの設置と発電状況の確認、環境エネルギーに関する授業を予定

【問い合わせ】教育総務課 電話：23-9543（直通）

県内初！ ICタグ利用登下校見守りシステムを導入

当市は、小学校の安全対策の一環として、県内で初めて ICタグ利用登下校見守りシステム「ツイタもん」を、全小学校の希望する児童を対象に一斉導入します。児童の捜索など初動対応時の状況把握や、保護者が児童の登下校時刻を簡単に確認できることから、本システムを導入するものです。

●システムの概要

- ・ NPO法人ツイタもん（大阪市）が提供する ICタグ利用登下校見守りシステム「ツイタもん」は、ICタグを持った児童の校門などの通過時刻を記録。今回、市内全ての小学校の校門などに ICタグを感知するセンサーを設置します。
- ・ ICタグは児童へ無償貸与。紛失、破損時も無償で交換。

※初期工事費、年間管理費共に無償。当市の負担はセンサー機器の電気代のみ

- ・ 学校では、職員室などに設置するインターネットパソコンで、児童が校門を通過した時刻を確認できます。
- ・ 保護者が通過時刻を知りたいときは、システム事務局（フリーダイヤル）へ問い合わせることで、無料で確認できます。
- ・ 別途、システム事務局と有料会員契約（児童1人につき月額400円 ※税別）することで、リアルタイムに携帯電話などでメール受信できます。



サイズ：6.5 cm × 4 cm

●他団体の導入・活用事例

大阪府や兵庫県、東京都、北海道など全国11都道府県の400校以上が、本サービスを実施。九州では、福岡市、熊本市、沖縄県が本システムを導入しています（学校単位での導入が多い）。

また、大阪府池田市、東京都台東区、奈良県奈良市、熊本県熊本市、福岡県古賀市などが、全小学校を対象に一斉導入しています。

●セレモニー

日時：8月30日（金）13：30～ ※15分程度

場所：上長飯小学校

出席者：市長・教育長・ツイタもん事務局関係者

内容：出席者が校門付近で児童を出迎えるほか、センサー機器などサービスの説明

【問い合わせ】教育総務課 電話：23-9543（直通）

都城市物産振興プロジェクトマネージャーを選任！

外部人材の活用による、物産振興拠点施設の検討開始

都城市は、「道の駅 都城」を市の物産振興拠点施設として大幅にリニューアル整備することで、物産振興と交流人口の拡大による地域活性化を目指します。

市民だけでなく、観光などで当市を訪れる人が「行きたい」と思う施設にするためには、行政的な考え方のみにとらわれず、外からの視点と民間事業者などの専門的ノウハウが必要です。

このため、4月から6月に「物産振興プロジェクトマネージャー」を募集。応募者 126 人の中から、原 一真（はら かずま）さんを選任。令和元年7月1日付けで、業務委託契約を締結しました。



●都城市物産振興プロジェクトマネージャープロフィール



- 原 一真（はら かずま）
- 63歳（昭和31年2月29日）
- 福岡県在住
- Branding Works LLC 代表取締役社長（2012年5月～）
- ブランディング戦略や顧客分析、コンセプトワークやデザイン、店舗設計や商品開発などの総合的デザイン戦略、ディレクションなどが専門

●担当する業務

- 物産振興プロジェクトマネジメント
- 契約期間：令和元年7月～令和2年3月
- 契約金額：月額70万円（税別）
- 委託の目的：拠点施設における集客力、物産販売力の強化

●具体的な役割

- 拠点施設のグランドデザイン、施設整備や運営組織の在り方などの助言・提案
- 拠点施設の機能や規模、レイアウトに関する助言・提案
- 都城市物産振興拠点施設整備検討委員会での協議
- 拠点施設の運営組織（法人）の設立に関する助言・提案
- 本市内での現地調査、関連する打合せ協議などへの参加

【問い合わせ】 ふるさと産業推進局 電話：23-2193（直通）

健康な心と生活のシンポジウム



「人生 100 歳時代」と言われる今日。人は、人生の様々なシーンで、ふとしたことで立ち止まり、悩んだり、戸惑ったりして、生き方に迷うことがあります。

今回、市では、「心豊かに前向きな生活を送る」ためのヒントなる講演やパネルディスカッションに加え、自分らしく暮らすことの意味を考える映画の上映を企画しました。全ての世代の皆さんに響くイベントです。

●基調講演「60 歳からの 10 万時間を楽しく生きる」

講師：田舎暮らしアドバイザー 小橋 暢之（こはし のぶゆき）さん

千葉県在住。稲作をしながら田園カフェと移住の相談を受ける(株)田園生活サポートセンターを運営する講師。著書「60 歳からの 10 万時間を楽しく生きる」をもとに、退職後の「自分の輝く自由な時間」をどう生きていくのかを講演します。

●パネルディスカッション

小橋さんのほか、アナウンサーで元NHKアナウンス室長山根基世さんや、宮崎県キャリア教育推進トータルコーディネーター水永正憲さん、池田市長をパネリストに迎え、「心豊かに前向きな生活を送る」ためのヒントを探るパネルディスカッションを開催します。



●映画「人生フルーツ」

建築家の故津端（つばた）修一さん夫婦のドキュメンタリー映画。長年連れ添った夫婦の暮らしは、細かな気遣いに満ちていて「本当の豊かさとは何か」を、見る人が各々の視点で感じることができる映画です。

ナレーションは、女優の故樹木希林さんが務めています。

●健康な心と生活のシンポジウム（参加無料）

日 時：9月14日（土）13：00～16：30 ※会場 12：30

場 所：総合文化ホール

その他：要申し込み

福祉課や総合文化ホール、ウエルネス交流プラザで入場券を配布

【問い合わせ】福祉課 電話：23-2980（直通）